

嘉麻市社協だより

# えがお

No.111

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

<https://www.facebook.com/kama.swc>

発行日/2015.5.1



かま権利擁護センター  
(市民フォーラム)

コミュニティワークセンター  
(ふれあいいきいきサロン)



## 6つのセンターで 支えあいの地域づくり



かま障がい者地域生活支援センター  
(障がい児日中一時支援事業)



かま自立相談支援センター



かまボランティア・市民活動センター  
(災害ボランティアネットワーク連絡会)



かまひきこもり相談支援センター

# 法人設立10周年記念事業のご案内

## ～支えあいのまちづくりサポーター養成講座～

今年度は、嘉麻市社協が設立されて、10周年の節目にあたります。これからもみなさんと一緒にいろいろな活動をしていきたいと考えています。

そこで、下記のとおり「支えあいのまちづくりサポーター養成講座」(全10回)を開催することにいたしました。「孤から個へ 個から地域へ」をテーマに、様々な問題を少数者の側から提起し、様々な課題を共有しながらともに学ぶことができたらと考えています。

地域福祉の推進には、ともに活動できる方たちを増やしていくことが欠かせませんので、ぜひご参加ください。

記

### 第2回

テーマ  
「ハンセン病～人生(いのち)を  
奪われた人たちからの問いかけ」

日時 5月27日(水) 13:30～15:30

場所 夢サイトかほ  
(嘉麻市大隈町1228番地1)

講師 NPO法人ちくほう共学舎「虫の家」  
事務局長 高石伸人氏

### 第3回

テーマ 新しい地域支援を考える

日時 6月26日(金)

場所 稲築公民館  
(嘉麻市岩崎1141番地)

講師 公益財団法人 さわやか福祉財団  
さわやかインストラクター  
石井よしやす義恭氏

7月以降の予定は以下のとおりとなっています。開催日時や内容については、広報紙やホームページでご案内します。

- |      |     |                      |
|------|-----|----------------------|
| 第4回  | 7月  | 戦争と平和                |
| 第5回  | 8月  | 国立療養所菊池恵楓園でのフィールドワーク |
| 第6回  | 9月  | 認知症から学ぶもの            |
| 第7回  | 10月 | ハンセン病への思いを伺う         |
| 第8回  | 11月 | 水俣病が教えてくれたこと         |
| 第9回  | 12月 | 児童虐待の実際              |
| 第10回 | 2月  | 10周年記念講演             |

※第1回は、4月24日(金)に終了していますので、その内容等については次号で詳しく報告させていただきます。

今年の三月で一人とも退職し、自由な時間を過ごしています。私たちには五人の孫がおり、「おじいちゃんの仕事がおり、おばあちゃんの仕事がおり、おばあちゃんの仕事がおいしいね」と言ってもらえて、嬉しく感じ、ついほろえみがこぼれてきます。四月には六人目の孫が生まれる予定です。

今月のえがお

最近のえがおに  
なった出来事を  
教えて下さい!!



ひでみ 山本秀美さん

ひでみ 山本秀文さん

**A** 成年後見制度は、判断能力が低下している方の財産管理と身上監護が主な役割となっています。この制度は、収入に関係なく、自分らしく生活するための支援として利用することができます。また、近親者の方などがいる場合でも、後見人はその方と連携しながら役割分担をしてご本人を支援していくことができますので、成年後見制度の利用をお勧めします。



**Q** 本人の財産や収入が少ない場合、近親者がいる場合でも、成年後見制度を利用できますか？



Q & A 成年後見制度





## 災害時に備えて 連携強化を

3月20日(金)、稲築住民センターで災害ボランティアネットワーク連絡会を開催しました。この連絡会は、今回が初めての取り組みで、各機関や団体間の連携強化を図っていくことで、災害が発生した際の支援につなげていくことを目的に開催しました。

当日は、市担当課、高校、企業、青年会議所などから8名の参加がありました。

初めに、嘉麻市災害ボランティアセンターの取り組みについて紹介しました。その後、災害が発生した際、被災者の困りごとを解決するため、それぞれの団体ができることについて、意見を述べていただきました。

参加者の皆さんからは、「これまでの被災地での活動経験を生かして、協力していきたい」、「会として自分たちに何ができるかを考えていきたい」といった前向きな話があり、平常時からのつながりの大切さを改めて感じました。

今後も定期的に開催し、この関係を深め、広げていきたいと考えています。



## 平成27年度 一般会計資金収支予算書

(単位:千円)

### ●事業活動による収支

(収入)	
会費収入	1,734
寄附金収入	3,800
経常経費補助金収入	50,010
助成金収入	524
受託金収入	40,791
貸付事業収入	100
事業収入	21,902
介護保険事業収入	71,366
障害者福祉サービス等事業収入	16,667
受取利息配当金収入	111
その他の収入	66
<b>事業活動収入計</b>	<b>207,071</b>
(支出)	
人件費支出	176,332
事業費支出	48,892
事務費支出	8,331
貸付事業支出	100
助成金支出	2,152
負担金支出	414
<b>事業活動支出計</b>	<b>236,221</b>
<b>事業活動資金収支差額</b>	<b>▲ 29,150</b>

### ●施設整備等による収支

(収入)	
<b>施設整備等収入計</b>	<b>0</b>
(支出)	
固定資産取得支出	462
<b>施設整備等支出計</b>	<b>462</b>
<b>施設整備等資金収支差額</b>	<b>▲ 462</b>

### ●その他の活動による収支

(収入)	
サービス区分間繰入金収入	78,886
<b>その他の活動収入計</b>	<b>78,886</b>
(支出)	
積立資産支出	100
サービス区分間繰入金支出	78,886
その他の活動による支出	4,702
<b>その他の活動支出計</b>	<b>83,688</b>
<b>その他の活動資金収支差額</b>	<b>▲ 4,802</b>

●予備費支出	2,184
●当期資金収支差額合計	<b>▲ 36,598</b>
●前期末支払資金残高	36,598
●当期末支払資金残高	0

# コミュニティワークセンターをご利用ください

4月から開設しているコミュニティワークセンターについて、ご紹介します。

## どんなことをしているの？

中学校区ごとにコミュニティソーシャルワーカーを配置し、様々な相談に応じています。  
どんなことでも構いませんので、困っている事、悩んでいる事、不安に思っている事等をお聞かせください。

- ・一人暮らしで不安なことがある
- ・家にとじこもりがちである  
など

## コミュニティソーシャルワーカーとは…？

困りごとや悩み、不安がある方の話を聞き、どうしたら解決できるか一緒に考えます。

また、地域で解決できる仕組みを市民のみなさんと考え、作りだしていきます。

## 6名のコミュニティソーシャルワーカー

### 稲築地区

竹川 寿一  
西校区…赤間 裕樹  
東校区…丸 博明

### 碓井地区

竹川 寿一

### 山田地区

木原 靖世  
郷原 美香

### 嘉穂地区

溝口 まり絵



よろしく  
お願いいたします。

## その他には…

法律相談 心配ごと相談 ふれあい・いきいきサロン 広報活動(広報紙の発行、ホームページ、SNSによる情報発信) 在宅介護者の集い 居場所、行ける場所づくり  
子育てリユースセンター

など、市民のみなさんが安心して生活できる地域づくりに取り組んでいます。

本会には他にも5つのセンターがありますが、まずコミュニティワークセンターにご連絡いただくと、それぞれのセンターを紹介することもできます。

TEL 0948-42-0751

24時間365日いつでも受け付けています。  
お気軽にご連絡ください。

## 社協だよりクイズ

「読めば答えが見つかるかも」

「広報紙えがおを読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。」

### 問題

法人設立10周年の記念事業として開かれる養成講座は、何のサポーターでしょうか？

- (1) 支えあいのまちづくり
- (2) 地域安全見守り
- (3) 市民後見

● 応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、5月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにて応募ください。

● 送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1-43番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: [triki@kama.syakyoo.com](mailto:triki@kama.syakyoo.com)

● 前号のクイズの答え (3)

新しい嘉麻市社協の組織体制で就労や借金についての相談を受け付けているのは、かま自立相談支援センターでした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・高校生災害ボランティアサポーター養成研修会では、高校生達の意欲的な態度・取り組みに心強さを感じました。

・幅広い活動に敬意を表します。

※正確者の発表は発送をのり代えおこなっていただきます。



本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いで、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。ぜひご覧下さい。 <http://kamasyakyo.chobi.net/worldpress/>

2015年 3月20日(金)

今日は、業務終了後に、職員自主勉強会を行いました。NPO法人ちくほう共学舎「虫の家」事務局長の高石伸人さんから、『ハンセン病差別と「共に生きる」こと』というテーマでお話を伺いました。ハンセン病という病気について、本当のことが言い伝えられず、「感染する」「怖いもの」という言葉だけが広がってしまい、そのことがとてもひどい差別を生んでたくさんの方が苦しめられたことについて、詳しく話していただきました。これまで何度もその地域や療養所に行かれ、本人からお話を聞いて勉強されている高石さんの言葉は一つひとつにとっても重みがあり、胸に突き刺さりました。

終生強制隔離をされた患者の方は時間(未来)と空間(ふるさと、関係)を全て奪われたこと、家族まで差別され迷惑をかけるからと自分の存在証明である名前を隠すために偽名を持たれたこと、「優生保護法」において患者は不妊手術をしなければならなかったこと、監禁室や重監房で気が触れるような生活を送っていたこと、人間としての尊厳など、どこにもないようなこういった差別が「らい予防法」という法律によって守られていたこと等々…全ての話に胸が締め付けられました。

このような事実を学び、現実起きたこのことに向き合わなければならないこと、過去のことではなく、自分はどこに立っているのか、自分のことばかり考えていないか自分の問題として捉えなければならないことを教わりました。最後に、療養所に入所されている方はどんどん減っていて、このままこの事実を消してしまったら絶対だめ、このことをずっと語り続けなければならない、ハンセン病の患者の方に、ひどかったけど「生きてきてよかった」と思わせないといけないはずだと力強く話された高石さんの言葉はとでも胸に響きました。また、ハンセン病問題は終わっておらず、水俣のこと、沖縄のこと、福島のこと、全てにつながっているというお話もあり、誰かを犠牲にして生きている自分の人生についていつも見つめなおし、考え、思いを寄せなければならないと思いました。人間の自己中心主義、このような社会で便利なものに囲まれて生きる自分についても考えさせられる勉強会でした。

高石さんが教えてくださったことを聞いてそのまま終わりにするのではなく、もっと学び、市民のみなさんとも一緒に共有していきたいと思っていますので、今年度は、研修会を予定しています。高石さん、貴重なお話を本当にありがとうございました。



2015年 3月23日(月)

今日は、新潟県の研究チームが「空き家管理住まいサービス」と「地域の交流拠点寄ってこハウスの運営事業」について、視察に来られましたので、寄ってこハウスにて事業の概要を説明しました。まずは、近所に空き家が増えてきて困っているという声から始めた「空き家管理住まいサービス」について説明しました。本会では、現在、空き家となっている6軒の家屋を所有者の方と契約を結び、管理しています。月3000円の利用料をいただいていること、基本サービスとして、通風、通水、敷地内外のチェック、郵便物の確認等を職員と市民の方とで行っていることなどを話しました。

次に、「寄ってこハウス」では、子育てグループや在宅介護者、ひきこもり家族、フリースペース、勉強会、交流会など、空き家だった民家を改修し、交流拠点として活用していることを説明しました。また、平成21年度から平成23年度には、住む場所がない方からの相談を受け、緊急的に住宅として貸し出しをしたことも伝えました。

研究チームの中には、新発田市社協の方もおられ、お互いの取り組みについて意見交換もできました。また、研究チームのみなさんから、空き家の有効活用などの研究事例も伺うことができ、本会にとっても勉強させていただいた視察となりました。はるばるお越しいただき、ありがとうございました。



2015年 3月29日(日)

今日は、午前中、稲築才田公民館で出前講座「かまこさんのお悩み解決」を行いました。みなさん、真剣に聞いてくださり、「分かりやすかった」と言ってくれました。貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

午後からは、上大隈公民館で開催された行政区総会におじゃまし、社協のこと、ふれあい・いきいきサロンのことを少しお話しさせていただきました。隣の中益地区等でもサロンが立ち上がるようになり、そういったことを話してほしいとお声かけいただき、嘉穂地区でも少しずつ広めていきたいと考えていることをお話しさせていただきました。限られた時間でしたが、少しでも社協のことを知っていただけたかなあと嬉しく思います。今後、みなさんと何か取り組みができればいいなあと考えています(^^)

またお声かけいただければ、説明に伺いますので、どうぞよろしく  
 お願いいたします☆



# かま ボランティア市民活動センター情報

## ボランティアさんに聞きました

本会が実施する障がい児日中一時支援事業では、春休み期間中にたくさんの学生の方がボランティア活動をされました。みなさんにインタビューしましたのでご紹介します。



原田佳織さん

4月から大学に進学し、将来は教師を目指しています。春休み期間中になにか活動をしたと思い、参加しました。この活動をこれからの学生生活にも生かしていきたいと思っています。また時間ができれば参加します。



松尾奈央子さん

4月からは、看護師を目指して大学に進学します。このボランティア活動でのみなさんとのふれあいを、これからや、将来の仕事に役立てていきたいです。



小出俊輔さん

ボランティア活動を始めたきっかけは、子どもが好きというのがありますが、教育や特別支援といったものにも興味があり、将来はそういった仕事に就きたいと思っていて、そのために勉強したかったからです。やってみて、大変なこともありましたが、活動してよかったと思いました。今後も大学でたくさん勉強していきます。



野見山萌さん

図書館においてあったチラシをみてボランティアに参加しました。もともと子どもが好きで、先生を目指しているので参加していろいろな経験ができてとてもよかったです。



木下佳南さん

学校の勉強だけではなく、もっと視野を広げているいろいろなことを体験したいと思い、ボランティア活動の申し込みをしました。子ども達と楽しい時間を過ごすことができました。

## ボランティア募集情報

### レクリエーションのお手伝い

入居されている方をサポートしていただけるボランティアを募集しています。

日時	月曜日～金曜日の9時～17時 ※可能な日時で構いません。
場所	・障がい者支援施設さくら学園 (嘉麻市牛隈1712番地7) ・障がい者支援施設第2さくら学園 (嘉麻市牛隈1706番地3)
内容	レクリエーションの補助や利用者の話し相手など
備考	当日は、動きやすい服装とエプロンをご準備ください。

### 案内・通訳ボランティア

第31回飯塚国際車いすテニス大会ではボランティアを募集しています。

日時	平成27年5月12日(火)～17日(日) ※活動可能な日時・時間帯で構いません。
場所	メイン会場 ・筑豊ハイツテニスコート(飯塚市仁保8番地30) ・筑豊緑地テニスコート(飯塚市仁保8番地25) サブ会場 ・福智町屋内競技場(田川郡福智町金田1171番地1)
内容	選手や会場に来られた方の案内等
備考	動きやすい服装でお越しください。

## イベント情報

### 嘉穂特別支援学校 ～学習発表会～

下記のとおり学習発表会を開催いたします。ぜひご来場ください。

日時	平成27年5月30日(土) 9:20～13:30	場所	嘉穂特別支援学校(嘉麻市鴨生328-1)
内容	9:00～11:00 受付 9:20～12:15 開会式・ステージ発表・閉会式 12:15～13:00 中学部作業学習作品販売 PTAバザー	(作品販売) 園芸班・・・季節の野菜 手工芸班・・・手作り石けん、 <small>ようぎょう</small> 窯業作品 製菓班・・・手作りクッキー	

お問い合わせ先・お申し込み先：かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751

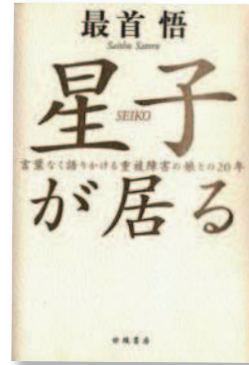


一冊



せいこ  
星子が居る

～言葉なく語りかける重複障害の娘との20年～



著者：最首 悟  
出版社：世織書房

この本には、著者の最首さんが重度障害を持つ娘の星子さんとの生活をとおして感じてこられたこと、たくさんの人々やできごとに出会ったことが星子さんの年齢ごとに書かれています。

星子さんと過ごしていく中で、一人の人間の

かけがえのなさや喜び、悲しみを分かりあう大切さを学ばれ、また、「星子のこと」がわかるなんておこがましい」と感じられたそうです。一番印象に残ったのは、星子さんが10歳で視力を失われた時の話でした。目が見えなくなったことに周りは大変だろうと思っていたけれど、星子さんに大きな変化はなかったそうです。「失うということがすごく大きいことのように考える精神風土にいる」との指摘に、失うという事に過敏になっている自分に気づきました。

また、「共に生きる」とは、人は独立した不可侵の存在であるからこそ、お互いの気持ちからわからない、だからこそ思いやって心が違っていることをわかるようにすること。「わからなさを持ち続けることが大切で、答えを出すことが目的ではないこと。病気や障害によってその人は他人にない何かをもつということ。など、この本には、心に響く言葉がたくさんかかれてあり、ここには書ききれないくらいです。何度も読み返したくなる一冊でした。(きはら)

6月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっていますので、お早めにお申し込みください。

法律相談

と き：6月4日(木)  
13:00～16:00  
ところ：山田ふれあいハウス

と き：6月18日(木)  
13:00～16:00  
ところ：稲築住民センター

心配ごと相談

と き：6月10日(水)  
13:00～15:00  
ところ：稲築住民センター

と き：6月24日(水)  
13:00～15:00  
ところ：稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会  
☎0948-42-0751

炭鉱の記憶

No. 98

市民の方から、「以前、炭鉱で働いていた夫が使っていた道具が出てきた」とご連絡をいただき、見せてもらいました。

その方は、三井山野炭鉱に勤められていたそうで、「yamano」とローマ字で記されたベルトのバックルや、発破作業を担う方や棹取りにしか吹くことが許されていなかったホイッスルなど、どれもとても貴重なものばかりでした。

その中に、縦9cm、横3cm、厚さ1cmほどの木の札がありました。表には、氏名が記されていて、横面には坑内の棹取りを示す「内棹」の文字と4桁の番号が漢数字で記されています。

出勤時に、事務所での木札と交換で、ヘッドランプとそのバッテリーを受け取ってから坑内へ下る仕組みになっていた時期もありました。

人が多い採炭や掘進などの従業員は紙の出勤簿で管理するのが一般的でしたが、棹取りは比較的人が少ないことから、木札でその日の出勤者を確認していたそうです。

把握された勤務者数は、上司へと伝達されて、万が一の不測の事態が発生した時には、この数を基に捜索や救助が行われていました。

このような出勤者の把握をはじめとした危機管理対策は、より安全性の高いものへと何度も見直しが行われていたそうです。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

☎0948(42)0751



# 法人運営 INFORMATION

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり評議員会、新規採用職員辞令交付式を開催しました。

## 記

第35回評議員会 <開催日>平成27年3月23日(月)

【議案第64号】平成26年度第2次補正予算について

【議案第67号】理事の補欠選任について

【議案第65号】平成27年度事業計画及び収支予算について

【報告第12号】職員人事異動について

【議案第66号】定款の一部変更について

### 新規採用職員

新規採用職員辞令交付式 平成27年4月1日(水)

4月1日付けで採用となった職員に、村上会長から辞令が交付されました。  
4人の新人職員を紹介します。



赤間裕樹

4月より、嘉麻市社会福祉協議会で働くことになりました赤間裕樹と申します。小・中・高とサッカーをやっていたので、体力には自信があります。今は分からない事ばかりで、仕事に慣れる事で精一杯ですが、早く仕事を覚えて、地域の皆様方のお役に立てるように一生懸命頑張っていきたいと思えます。これからよろしくお願ひします。



山崎あゆみ

初めまして、このたび総務経理係に配属になりました山崎あゆみと申します。大学では商学部商学科に所属しており、マーケティングについて学んでいました。趣味はDVD鑑賞なので何かおすすめがあればぜひ教えてください。皆様に早く顔と名前を覚えていただけるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



郷原美香

初めまして、新入職員の郷原美香です。出身は筑紫野市なので、これから嘉麻市のことを知って、皆様と一緒に地域福祉に携わりたいと思います。趣味はキックボクシングとボルダリング(人工の岩登り)です。性格は単純・あがり症だと言われます。こんな私ですが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。



丸 博明

皆様初めまして、丸 博明と申します。この春、近畿大学産業理工学部を卒業いたしました。大学では細胞を用いてガンの研究をしていました。この度嘉麻市の皆さまのお役に立ちたいと思い、嘉麻市社会福祉協議会に就職いたしました。まだ至らぬ点も多々ありますが、日々努力してまいります。これからよろしくお願ひします。

嘉麻市  
社会福祉協議会指定  
葬祭場紹介

## セレモニーホールおおつか

嘉麻市下山田9-1 ☎(0948) 52-1212

人生の最期を迎える前の生前準備である終活に欠かせないのが、エンディングノートではないでしょうか。書きやすいところ、興味のあるところから書き、緊急時(終末期医療についての希望、貴重品や保険の情報、友人知人の連絡先など)に必要なことを最初に書いておくことで安心です。

※エンディングノートをご希望の方は進呈いたします。ご遠慮なくお申しつけ下さい。

葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニーホールおおつかを含め、市内に8ヶ所あります。

かほ葬祭 あじさい会館…………… ☎62-5566	きど葬祭やまさ碓井斎場…………… ☎62-4499
善光会館 稲築会場…………… ☎83-5000	ひさつね会館…………… ☎52-0758
おかむら葬祭岡村会館…………… ☎42-4420	いすや会館…………… ☎57-4444
飛鳥会館 南斎場…………… ☎42-4241	



みなさまの善意、心より厚く、  
お礼申し上げます。



寄付・  
香典返し受付分

3月1日～3月31日受付分

●香典返し

〔山野第一〕

親族 水間 徳子 様  
故 水間 如八 様

〔飯田〕

親族 武田 千香代 様  
故 武田 篤 様

〔西郷〕

親族 武田 藤雄 様  
故 武田 久重 様

〔熊ヶ畑第一〕

親族 山崎 和代 様  
故 山崎 清子 様

〔熊ヶ畑第二〕

親族 瀬尾 しげ子 様  
故 木下 サナエ 様

〔神幸〕

親族 石橋 廣藏 様  
故 石橋 和稔 様

〔木城〕

親族 大場 美代子 様  
故 大場 一博 様

〔大橋〕

親族 有吉 靖朗 様  
故 有吉 子朗 様

〔大橋〕

親族 石原 幸勝 様  
故 石原 子勝 様

〔大橋〕

親族 石原 幸勝 様  
故 石原 子勝 様

〔大橋〕

親族 石原 幸勝 様  
故 石原 子勝 様

〔三菱第一〕

親族 河部 トシコ 様  
故 河部 寛 様

〔立石〕

親族 伊藤 ヨシ子 様  
故 伊藤 清司 様

〔上午隈〕

親族 梅原 三代世 様  
故 梅原 文明 様

〔泉河内〕

親族 三宅 智恵 様  
故 三宅 九州男 様

〔桑野〕

親族 梶原 靖子 様  
故 梶原 正人 様

〔一般寄附〕

嘉穂の名水愛好者一同  
梶原 スギ子 様

〔物品寄附〕

梶井 昭子 様

〔子育てリユース〕

中山田 小野 紀子 様  
大隈 大里 理子 様

〔アルミ缶〕

飯塚市 川崎 洋子 様  
桑野 江藤 千鶴 様

〔アルミ缶〕

飯塚市 川崎 洋子 様  
桑野 江藤 千鶴 様

〔アルミ缶〕

飯塚市 川崎 洋子 様  
桑野 江藤 千鶴 様

〔アルミ缶〕

飯塚市 川崎 洋子 様  
桑野 江藤 千鶴 様

漆生東 東 美那子 様  
錢代坊 東 美那子 様

下白井東 東 美那子 様  
六四田 松田 敏雄 様

百々谷 橋本 利根 様  
百々谷 吉元 悦子 様

中央 明石 睦則 様  
猪之鼻 菊池 春政 様

新原 金原 照子 様  
石ヶ崎 渡邊美千代 様

芥田 大野スマ子 様  
九郎原 大野スマ子 様

宮吉 大野スマ子 様  
田中茶舗 大野スマ子 様

鳴生第一行政區 大野スマ子 様  
嘉麻市身体障害者 大野スマ子 様

石ヶ崎シニアクラブ 大野スマ子 様  
福社協会稲築支部 大野スマ子 様

漆生中央 手島とよ子 様  
漆生中央 手島とよ子 様

山野第二 匿名 様  
山野第二 匿名 様

山野第二 匿名 様  
山野第二 匿名 様

宮地 坂本 光次 様  
枝坂 志水 康子 様

鳴生北町 山崎 恵子 様  
六四田 松田 敏雄 様

西郷 吉國富治雄 様  
熊ヶ畑第一 菅尾 五重 様

熊ヶ畑第二 石橋 和稔 様  
熊ヶ畑第二 三好 邦央 様

下宮 三好 邦央 様  
中山田下 箕田ヤヨイ 様

新原 金原 照子 様  
三日月町 大村 美生 様

上西郷 有田 和也 様  
芥田 大野スマ子 様

田川市 大野スマ子 様  
琴平陶芸サークル 佐竹真喜枝 様

つばさ学園 佐竹真喜枝 様  
石ヶ崎シニアクラブ 佐竹真喜枝 様

長円寺仏教婦人会 佐竹真喜枝 様  
石ヶ崎シニアクラブ 佐竹真喜枝 様

嘉麻市消防団第6分団 様  
〔古切手〕

山野第一 中山 悦子 様  
山野第二 古賀 絹江 様

鳴生第一 伊藤喜代益 様  
鳴生町 匿名 様

枝坂 志水 康子 様  
熊ヶ畑第一 菅尾 五重 様

五日町 匿名 様  
九郎原 匿名 様

おかわら葬祭岡村会館 匿名 様  
鳴生第一行政區 匿名 様

教育ナビゲーション(株) 匿名 様  
JAふくおか嘉穂南部 グリーンセンター 匿名 様

〔使用済テレカ〕 匿名 様  
漆生中央 手島とよ子 様

〔アルミ〕 匿名 様  
古河 塚原 京子 様

あなたの会費が、社協の  
地域活動を支えています

3月1日～3月31日受付分

〔漆生本村〕梶原慈子  
〔漆生中央〕漆生中央八組(三〇口)、  
匿名(三〇口)

〔口春〕グループホーム彩(十口)  
〔山野第一〕辻田亜由美  
〔漆生老松〕木山淳一(二〇口)

〔平東〕米矢稲子  
〔熊ヶ畑第一〕大里喜久雄、大里京  
子、江藤久人、大里ミツエ、広瀬スズ  
エ、友田雅則、大里初男、大里速、大  
里優子、大里稲葉、大里恵、財津吉美  
〔百々谷〕宮本克義、高見敬次、福井  
政子、吉村英雄、石井春美、阿部久  
代、川上アイ子、太田シズ子、渋谷  
香、尾木八重子、稲富静代

山田ふれあいハウス利用者の声

利用者の方に山田ふれあいハウスについて伺ってみました。  
・みなさんが自由に囲碁や将棋に興じられています。無料で利用できるの、ふれあいハウスがあることをありがたく思っています。(山本さん 嘉穂地区在住)  
・毎朝の散歩の際に立ち寄っています。顔なじみの方とよく世間話をしていますが、休館日が少ないので、ほぼ毎日利用できるのが良いですね。(関さん 山田地区在住)

ホールでは、囲碁や将棋の対局があったり、放課後になると子どもたちの利用があります。みなさんが思い思いの時間を過ごしておられますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



〔尾浦第一〕酒井リツ子、松本由美子  
〔天神〕武谷節夫  
〔木城〕大里英雄  
〔大橋〕深町紀子  
〔中央〕渡辺進、渡辺智子、山口由一郎  
〔猪之鼻〕大久保昌之  
〔中山田下〕箕田ヤヨイ  
〔生隈北区〕杉岡信子  
〔嘉穂地区民生委員児童委員協議会〕  
山根國治、大里盛人、武田八重子、  
野見山榮子、田中マサミ、朝比奈凡  
人、松岡敏子、有田芳行、武田貴久  
子、岩崎洋子、中原光江、川原久美  
子、榎清、西森章雄、山本幸恵、芹野  
彌生、川原田寿史、梶井輝久、田中  
雅文、日高加代子、大屋千鶴子、縄  
田高孝、中原重治、岩下民代、坂口  
小夜子、渡辺ノブ子、江藤伸、江藤  
さよ子、熊本正  
〔飯塚市〕木原靖世(二〇口)  
〔その他〕錢代坊行政區(三十口)、  
嘉麻市稲築地区民生委員児童委員  
協議会(二十口)

# ふるさとへの手紙 No.111

## ふるさとには温かい



東京都  
八王子市在住  
逸見 保代さん  
鴨生出身

「ふるさと」という言葉で心に浮かぶのは、家の裏手にあった菜の花畑。二面に黄色の花が咲く頃は、子どもが身体が隠れるほどの高さで、そこで友達とよく遊びました。鴨生の実家に帰省するたびに、「ああ、ここだった」と思い出します。そんなふうに、私にとってのふるさとは温かい。心優しい家族・親戚・近所の皆さん・友人・同窓生が待つてくれるところ。小中高の思い出はつづつ語ればきりありませんが、音楽がいつも共にありました。若い頃バンドをしていた音楽好きの父の影響で、私も自然と歌が好きになりました。実家は米屋なので、店のお客さんたちは、学齢前の小さい私の歌をよく聞いて

てくれました。マイク代わりに置のへりにハタキをさして歌うのを、手放して喜んでくれた優しく嬉しい思い出です。その後、上京し、ジャズシンガー・マーサ三宅に師事してジャズを歌うようになりました。

そして師匠マーサ三宅に、「夏実泰代」という名前もいただき、都内中心にライブをし、ここ数年は愛知、福岡、熊本でもライブをしています。また数年前に、稲築志耕館高校(旧稲築高校)の同窓会東京支部で歌わせてもらうことから、同窓生が応援してくれるようになりました。東京ではライブに來てくれたり、最近は何に一度、飯塚のバドドゥル・コトブキでデイナーライブもさせていただいています。感謝の気持ちでいっぱいです。ふるさとに何か恩返しを思っていた矢先、今年6月9日に福岡ヤフオクドームで、ホークスの試合前のセレモニーで君が代を歌うことになりました。みんな喜んでくれます。やっと、やっと少しだけ、ふるさとの皆さんへの恩返しができるのです。ありがとうございます。

### コラム 交差点

#### 家族

人は誰でも元気な時は、病気が怪我は新聞テレビで見ると他人事、いつまでも健康で長生き、無理と頭でわかっているも願望も兼ねそう思っている。若い時は「マーシャルである。若い時は」病気なんか関係ない「私もそう信じていた。万がなくても生命保険で何とかなる。

四十九才の時前触れもなく突然信じられない信じたくない出来事が起きた。クモ膜下出血で左半身麻痺となった。

気がついた時は病院のベッドで何日も経っていた。当時の記憶はないが、友人の発見により救急車で運ばれ九死に一生で生還出来た。六十七日で退院したもの、一人では何も出来ず、頭は丸坊主。「私の一生はこれで終わり？」毎日泣いて暮らした辛い日々、家族がいなければ何も出来ずに家に閉じ込めていた。夫や娘たちの愛ある看護と介護で少しずつ前向きになれ、「二度と家族を悲しませたくない」の一心で「からコツコツと気長にやり出る事を増やしていった。諦めかけていた家事も仕事にも三

年前で復帰した。娘の結婚式も孫の顔も見ることが出来、夫と二人三脚、何とか半人前でも笑えるようになった。  
五年前からは人工透析に火、木、土曜は半日病院通い、月、水、金曜は仕事、日曜は買い物、家事と万全ではないが出来るようになった。家族の強い絆と協力・手助けにより頑張つてこれ、十八年も長生き出来、今は幸福と思える。神様がくれた寿命と与えられた試練に負けず明るく前向きに毎日悔いなく逞しく生きるのみ。家族と健康が私の宝。

(下山田 平尾 節子)

### 編集後記



平成27年度は、嘉麻市社協が誕生して10年の節目になります。みなさんとともに様々なことを学びたいと思い、まちづくりサポーター養成講座を企画しました。5月は、ハンセン病問題について学びます。ぜひご参加ください。  
(きはら)



表紙で、4月から新しくできた6つのセンターを写真でお伝えしています。それぞれのセンターで相談を受け付け、みなさんと一緒に福祉のまちづくりに取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。  
(みぞくち)



災害ボランティアネットワーク連絡会には、これまで関わりの少なかった団体の方にもご参加いただきました。日頃の連携が災害時にも役立つのだと思います。今回の連絡会で繋がった縁を大切にしたいと思います。  
(たけがわ)



社協だよりクイズの答えと一緒に広報紙の感想を書いていただき、とても嬉しかったです。これからも、読みやすく魅力ある広報紙になるように努めていきたいと思ひます。  
(ながの)



日中一時支援事業の春休みに5名の学生ボランティアが来てくれました。一緒に遊んだり、お昼ご飯を食べたりと楽しい時間を過ごしました。子どもたちはまた会えることを楽しみにしているようです>(\*^\_^\*)  
(かじ)